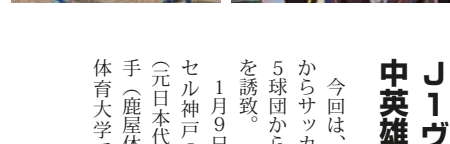
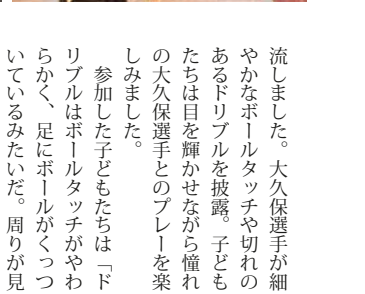
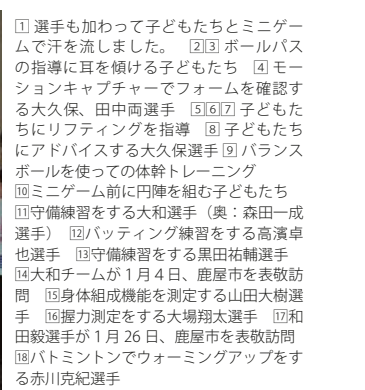


誘 致 選 手

1月8日(日)～14日(土) 7日間
大久保嘉人(ヴィッセル神戸 FW) 元日本代表(2003～2005年、2007～2010年)
田中英雄(ヴィッセル神戸 MF) 鹿屋体育大学出身
1月4日(水)～15日(日) 12日間
大和(阪神タイガース 内野手) 鹿屋市出身
森田一成(阪神タイガース 内野手)
黒田祐輔(阪神タイガース 外野手)
高濱卓也(千葉ロッテマリーンズ 内野手)
1月23日(月)～1月26日(木) 4日間
和田毅(ボルティモア・オリオールズ 投手)
大場翔太(ソフトバンクホークス 投手)
山田大樹(ソフトバンクホークス 投手)
赤川克紀(東京ヤクルトスワローズ 投手)



産学官連携による自主トレ受け入れのお礼に、シーズン中に使用した両選手のユニホームを市に寄贈。市役所正門入口に展示する予定です。



産学官連携でプロスポーツ選手の自主トレ誘致

産学官連携によるスポーツ合宿まちづくり推進事業は、鹿屋体育大学と鹿屋市観光協会と市が連携して、プロスポーツ選手等の合宿・自主トレのメッカとなるまちづくりを推進し、交流人口の増加による地域活性化を図ろうとするもので、今年で2年目。1月4日から26日の間、Jリーグ1チームからサッカー選手2人、プロ野球から5球団8人が3期に分かれて、メインとなる鹿屋体育大学や西原野球場の施設などを利用して、自主トレを行いました。また、各選手が筋力の変化などを把握するため、同大学で国内最先端の機器を利用して持久力の指標となる最大酸素摂取量の測定のほか、体の動きを3次元で表示するモーションキャプチャーによる投球などの各フォームや筋肉などの身体組成の機能測定等を行いました。それらの様子を写真で紹介します。

Jリーグ神戸・大久保嘉人、田中英雄両選手がサッカー教室で指導

今回は、Jリーグ1チームからサッカー選手2人、野球5球団からプロ野球選手8人を誘致。
1月9日には、Jリーグ1チームセル神戸の大久保嘉人選手(元日本代表)と田中英雄選手(鹿屋体大出身)が、鹿屋体育大学でサッカー教室を開き、大隅半島の小中学生約180人がJリーガーから技術を学びました。
教室では、大久保、田中両選手のほか、同大サッカー部員17人がリフティングやパス、ドリブルを指導。
最後は、選手も加わって子どもたちとミニゲームで汗を流しました。大久保選手が細やかなボールタッチや切れのあるドリブルを披露。子どもたちは目を輝かせながら憧れの大久保選手とのプレーを楽しみました。
参加した子どもたちは「ドリブルはボールタッチがやわらかく、足にボールがくっついていてみたいだ。周りが見えてすごいと思った」とプロの技術に感激した様子で、目を輝かせていました。
大久保選手は「子どもたちのレベルの高さに驚いた。楽しみながらプレーし、プロになりたいという目標を持ってあきらめずにやってみてほしい。鹿屋出身のJリーガー誕生を期待しています」とエールを送りました。
また、大久保選手は「大学は広々としていて設備も充実している。今年は優勝を目指したい」、田中選手は「8年ぶりに鹿屋に帰ってきて懐かしい思い。優勝できるようにがんばりたい。鹿屋でチームのキャンプができると思う」とそれぞれ抱負を話してくれました。

